



北海道歯科産業株式会社

HOKKAIDO SHIKA SANGYO
DENTAL SOLUTION 1952

2023年4月24日

各位

会社名 北海道歯科産業株式会社
(コード番号 7693 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 山田 哲哉
問合せ先 取締役管理本部長 神谷 康弘
T E L 011-813-5556
U R L <https://hokusan-kk.co.jp>

通期業績予想の修正及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ

当社は、2022年4月28日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」における2023年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また当社は2023年3月期(2022年3月21日～2023年3月20日)において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期業績予想の修正(2022年3月21日～2023年3月20日)

(単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年4月28日公表)	4,842	40	46	31	6円53銭
今回修正予想(B)	4,607	53	70	30	6円40銭
増減額(B-A)	△235	12	23	△0	
増減率(%)	△4.9	31.1	51.2	△2.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	4,780	22	35	21	4円50銭

2. 修正の理由

2023年3月期 通期業績予想におきましては、時価製品かつ利益率の低い歯科用金銀パラジウム合金の価格高騰に伴う販売数量の大幅な減少により、想定した売上高を確保することが出来ない見込みとなりました。

一方で、主要取引先である歯科医院への送料無料による配送体制を維持すべく、配送料抑制施策として従来の都度配送から定期配送に切り替えることなどの全社的なコスト削減策の実行により、販売費及び一般管理費の低減に寄与し、営業利益及び経常利益は予想値を上回る見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、後述3の通り、特別損失を計上する見込みとなったため、予想値を若干下回る見通しです。詳細は後述3をご参照願います。

3. 特別損失の計上見込みについて

当社は、2021年6月9日に公表の「当社による訴訟の提起に関するお知らせ」にてお知らせのとおりアウローラ化学株式会社及び株式会社ピクスを相手（被告）として訴訟を提起しました。その後、株式会社ピクスは、2022年12月に札幌地方裁判所へ破産手続開始の申立てが行われ、同月札幌地方裁判所より破産手続開始の決定を受けておりますが、もう一方のアウローラ化学株式会社とは現在も訴訟を継続しております。

訴訟対象である契約自体はアウローラ化学株式会社1社と締結しており、当該会社は破産しておらず、かつ訴訟も継続していることを勘案し、訴訟債権の回収可能性について注視しておりましたが、2023年3月期の決算を確定するにあたり、裁判が進展しない状況を勘案し、監査法人とも協議しました結果、2023年3月期の通期業績において、貸倒損失として債権を清算するのが妥当であるとの判断に至りました。具体的には、長期未収入金87,872千円のうち回収可能性を考慮し、当該金額の半分に当たる43,936千円を2021年3月期に特別損失として既に計上しましたが、残りの43,936千円を2023年3月期に貸倒損失として特別損失を計上する見込みであります。

以 上